

太郎氏に聞く



▲「表現力、そこが僕の芸」とマルセさん。⑤の写真は舞台でのマルセさん、1面の写真とともに撮影は写真家秋藤俊氏。

「苦悶を表し出してもよいから人に迷惑なんですよ。」(マルセ)

(マルセ)

(一面からのつづき)
♦
売れっ子は多いがスターは少ない
高橋 (笑い) 手厳しいですね。かなりの数映画は見られるのですか?
マルセ 週に一本位ですかねえ。相変わらず日本映画はダメだな。日本にスターがない。スターというのは年に一本出て見える人のこと。掛け持ち掛け持ちで出演する能優は、永六輔が言ってたけど、「売れっ子」という。僕はひとり語りですが、表現をするわけです。今度やる「中村秀十郎物語」(有吉佐和子作)において、この作品から、主人公の中村秀十郎

といふ人間を僕の中に感じます。だから発散する感性はしょうがないんです。かならぬ数映画は見られるのですか?
マルセ 週に一本位ですかねえ。相変わらず日本映画はダメだな。日本にスターがない。スターというのは年に一本出て見える人のこと。掛け持ち掛け持ちで出演する能優は、永六輔が言ってたけど、「売れっ子」という。

心のひだ読む芸
マルセ 本人が言うと値打ちがないですが、私の先天的なものでじょう。テクニックある女流講談師が「社会問題」から感動するわけだけ

ね。ある女流講談師が「社会問題」から感動するわけだけ

♦
売れた子は多いがスターは少ない
高橋 (笑い) 手厳しいですね。かなりの数映画は見られるのですか?
マルセ 週に一本位ですかねえ。相変わらず日本映画はダメだな。日本にスターがない。スターというのは年に一本出て見える人のこと。掛け持ち掛け持ちで出演する能優は、永六輔が言ってたけど、「売れっ子」という。

♦
心のひだ読む芸
マルセ 本人が言うと値打ちがないですが、私の先天的なものでじょう。テクニックある女流講談師が「社会問題」から感動するわけだけ

ね。ある女流講談師が「社会問題」から感動するわけだけ

(一面からのつづき)

といふ人間を僕の中に感じます。もう全然違っています。そこには芸人としてのが普遍性です。それをどれくらいい自分の身体の中で内付けができるか。喜ばれに感動するわけですか?

♦
それを芸として表現できるのは。

ね。芸人のやることじょうのよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。そこのんだよ。

よ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。

かし、テレビの漫才、コント

ブームもあって、時代によ

だめなんよ。

それが芸ですね。し

かし、テレビの漫才、コント

が、前回に比

は勉強で身につけるにはできますが、その人から発散する感性はしょうがないんです。だからね、映画は見るわけですか? それを見たとして表現するわけですか?

♦
それを芸として表現できるのは。

ね。芸人のやることじょうのよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。

ね。芸人のやることじょうのよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。

ね。芸人のやることじょうのよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。

ね。芸人のやることじょうのよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。

ね。芸人のやることじょうのよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。

といふ人間を僕の中に感じます。もう全然違っています。そこには芸人としてのが普遍性です。それをどれくらいい自分の身体の中で内付けができるか。喜ばれに感動するわけですか?

♦
それを芸として表現できるのは。

ね。芸人のやることじょうのよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。

かし、テレビの漫才、コント

ブームもあって、時代によ

だめなんよ。

それが芸ですね。し

かし、テレビの漫才、コント

ブームもあって、時代によ

だめなんよ。

ね。芸人のやることじょうのよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。

ね。芸人のやることじょうのよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。

ね。芸人のやることじょうのよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。

ね。芸人のやることじょうのよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。喜ぶを感じるのじょうなんだよ。



鮮明な言葉で曲の主張伝えた新曲

♦
ただは、ただ
マルセ テレビのお笑いとステージでやっているものとは全然別なんです。同列に考るられない。そういうのいつしかだにしちゃダメだ。ただはただなんだよ。所詮。食べ物だってそうでした。ただのものと高い金払つ

たものと感じ方は違うに決まつてます。

高橋 ただはただですか? やっぱり。ただでないマルセ

太郎の笑いは?

マルセ テレビで馴染んでいるような笑わせようといふものは一つもない。人間の営みを典型的に表現できたらお客は勝手に笑うんですよ。どのくらいその人間の典型を表せるかということです。

結局、表現どころです

たものと感じ方は違うに決まつてます。

高橋 ただはただですか? やっぱり。ただでないマルセ

太郎の笑いは?

マルセ テレビで馴染んでいるような笑わせようといふものは一つもない。人間の営みを典型的に表現できたらお客は勝手に笑うんですよ。どのくらいその人間の典型を表せるかということです。

マルセ太郎・プロフィール

各地のキャバレー、ストリップ劇場に出演。昭和55年(1980年)のサル歳には、持

ちネタの一つであるサルの形

模様写が大人気となる。

その後、「コメディードンキース」「スタミナトリオ」でピン芸(ひとり芸)を磨き、映画『泥の河』でジン芸(ひとり芸)を語る異色芸で色川武大氏、永

昭和8年(1933年)、大阪生まれ、大阪府立高津高

校時代に演劇の道を志す。昭和31年(1956年)、日劇

ミュージックホールでパン

トマイムを演じてデビュー。

その後、「コメディードン

キース」「スタミナトリオ」を結成し、浅草演芸場や全国

公演中。著書「芸入魂」。

ね。演説しゃべっては芸ではない。舞台で演説されたんじや、客は迷惑ですよ。おもしろく表現してみたいうん

であります。もう七年になりますよ。もう七年に

ある付き合いですか。右翼の人でも笑いの中でもうだんだと思われるんですよ。そういう笑いはクニッカでは創れない

おもしろい、といいうことが決してないんですよ。

高橋 どんなふうに話され

たんですか?

たぶん本(台本)を読んでいたんだよ。

ね。芸見と芸見は違う。芸に裏付けられた表現がなければ

だめなんよ。

かし、テレビの漫才、コント

ブームもあって、時代によ

だめなんよ。

それが芸ですね。し

かし、テレビの漫才、コント

ブームもあって、時代によ

だめなんよ。

ね。芸見と芸見は違う。芸に裏付けられた表現がなければ

だめなんよ。

かし、テレビの漫才、コント

ブームもあって、時代によ

だめなんよ。

ね。芸見と芸見は違う。芸に裏付けられた表現がなければ</

イメージとは全く違い、夜店も何もありません。古い古歌がにぎやかに流れていますよ」「国鉄のうた?」。あるいは「お母さんの好きな国鉄の歌」。歌がどこかで流れています。山田和夫さんの話によると、「国鉄のうた?」。ある意味の中に国鉄福井合唱団がいました。夜、廃校の庭で盆踊りがあると聞き、出かけました。盆休みで秘境秋山郷で旅行しました。静かときれいな沢水が私たちを迎えてくれました。夜、廃校の庭で盆踊りがあると聞き、出かけました。

中野草笛(長野市)
秋山郷 学舎の跡の、盆踊り
山村の中学学校で
国鉄の歌
清水三恵子(福井・坂井町)
山田和夫(長野市)
秋山郷 学舎の跡の、盆踊り
盆休み
秘境秋山郷で
盆休み

読者の声

(4面からのひがき)
ンスという意味を誤解してますね。このことがまだ一般化しない時、これを使っていたのは踊る人たちなんですよ。

その意味は、時代の流れ、流行に棹さすことなんですよ。だから彼らは踊るのは音楽に合わせてステージで踊るものだということをしました

んですね。このことがまだ一般化しない時、これを使っていたのは踊る人たちなんですよ。

パフォーマンスなどといふばかりがどんどん間違った意味になりました。この表現力、そこが僕の表現力、そこが僕の芸と感じます。

ポードピリアンマルセ・

高橋正志の



かつたんですよ。それがパフォーマンスなどいふんだですよ。今はなんでもかんでも

パフォーマンスなどいふばかりがどんどん間違った意味になりました。この表現力、そこが僕の表現力、そこが僕の芸と感じます。

下手なじの役者の話に自分の中に感じる共感するものが

あります。それをお客さん伝え

るわけです。もうすぐ俺六十

だよ。だけと云うのは小

校三年の子ももたって演じら

れる。この表現力、そこが僕の芸と感じます。

作業がなかつたらパフォーマンスではない。どこで独自性を出すか、人と違うから独

ではなく、自分のものだから

独自なんですね。

今度の「中村秀十郎物語」

にしても、大部屋の世渡りの

りまよって、奥さんたちが

いたところは、夫との後日談です。場ちがいの所でその歌はまた趣を異にしていたと

か。私は楽しめ娘の話を聞きました。

文化は生活の中から

文化活動に対するひと言といいます。

マルセ 地域の文化活動や

コーラスや、朗誦会をやってもせ

も、生活の中の文化になつて

いない。わかり易い話をしま

すと、三国連太郎出演の「利

金部ペイできるチケットの売

うた」「え

藤見での

久」という映画がありました

が、この映画は上映前から全

国茶道界名流の動員で

みました。私は楽しめ娘の話を聞きました。

文化は生活の中から

文化活動に対するひと言といいます。

マルセ 地域の文化活動や

コーラスや、朗誦会をやってもせ

も、生活の中の文化になつて

いない。わかり易い話をしま

すと、三国連太郎出演の「利

金部ペイできるチケットの売

うた」「え

藤見での

久」という映画がありました

が、この映画は上映前から全

国茶道界名流の動員で

みました。私は楽しめ娘の話を聞きました。

文化は生活の中から

文化活動に対するひと言といいます。

マルセ 地域の文化活動や

コーラスや、朗誦会をやってもせ

も、生活の中の文化になつて

いない。わかり易い話をしま

すと、三国連太郎出演の「利

金部ペイできるチケットの売

うた」「え

藤見での

久」という映画がありました

が、この映画は上映前から全

国茶道界名流の動員で

みました。私は楽しめ娘の話を聞きました。

文化は生活の中から

文化活動に対するひと言といいます。

マルセ 地域の文化活動や

コーラスや、朗誦会をやってもせ

も、生活の中の文化になつて

いない。わかり易い話をしま

すと、三国連太郎出演の「利

金部ペイできるチケットの売

うた」「え

藤見での

久」という映画がありました

が、この映画は上映前から全

国茶道界名流の動員で

みました。私は楽しめ娘の話を聞きました。

文化は生活の中から

文化活動に対するひと言といいます。

マルセ 地域の文化活動や

コーラスや、朗誦会をやってもせ

も、生活の中の文化になつて

いない。わかり易い話をしま

すと、三国連太郎出演の「利

金部ペイできるチケットの売

うた」「え

藤見での

久」という映画がありました

が、この映画は上映前から全

国茶道界名流の動員で

みました。私は楽しめ娘の話を聞きました。

文化は生活の中から

文化活動に対するひと言といいます。

マルセ 地域の文化活動や

コーラスや、朗誦会をやってもせ

も、生活の中の文化になつて

いない。わかり易い話をしま

すと、三国連太郎出演の「利

金部ペイできるチケットの売

うた」「え

藤見での

久」という映画がありました

が、この映画は上映前から全

国茶道界名流の動員で

みました。私は楽しめ娘の話を聞きました。

文化は生活の中から

文化活動に対するひと言といいます。

マルセ 地域の文化活動や

コーラスや、朗誦会をやってもせ

も、生活の中の文化になつて

いない。わかり易い話をしま

すと、三国連太郎出演の「利

金部ペイできるチケットの売

うた」「え

藤見での

久」という映画がありました

が、この映画は上映前から全

国茶道界名流の動員で

みました。私は楽しめ娘の話を聞きました。

文化は生活の中から

文化活動に対するひと言といいます。

マルセ 地域の文化活動や

コーラスや、朗誦会をやってもせ

も、生活の中の文化になつて

いない。わかり易い話をしま

すと、三国連太郎出演の「利

金部ペイできるチケットの売

うた」「え

藤見での

久」という映画がありました

が、この映画は上映前から全

国茶道界名流の動員で

みました。私は楽しめ娘の話を聞きました。

文化は生活の中から

文化活動に対するひと言といいます。

マルセ 地域の文化活動や

コーラスや、朗誦会をやってもせ

も、生活の中の文化になつて

いない。わかり易い話をしま

すと、三国連太郎出演の「利

金部ペイできるチケットの売

うた」「え

藤見での

久」という映画がありました

が、この映画は上映前から全

国茶道界名流の動員で

みました。私は楽しめ娘の話を聞きました。

文化は生活の中から

文化活動に対するひと言といいます。

マルセ 地域の文化活動や

コーラスや、朗誦会をやってもせ

も、生活の中の文化になつて

いない。わかり易い話をしま

すと、三国連太郎出演の「利

金部ペイできるチケットの売

うた」「え

藤見での

久」という映画がありました

が、この映画は上映前から全

国茶道界名流の動員で

みました。私は楽しめ娘の話を聞きました。

文化は生活の中から

文化活動に対するひと言といいます。

マルセ 地域の文化活動や

コーラスや、朗誦会をやってもせ

も、生活の中の文化になつて

いない。わかり易い話をしま

すと、三国連太郎出演の「利

金部ペイできるチケットの売

うた」「え

藤見での

久」という映画がありました

が、この映画は上映前から全

国茶道界名流の動員で

みました。私は楽しめ娘の話を聞きました。

文化は生活の中から

文化活動に対するひと言といいます。

</div